



「横内知事 国内外でトップセールス」



左/福岡市内のデパートで、来店者にモモをプレゼント
右/香港のジャスコ・コンヒル店での「富士の国やまなし」
観光物産フェア

山梨のモモやブドウ、 ワインなどの特産品と観光PR



香港で開催された「富士の国やまなし」
での意見交換会



香港での「富士の国やまなし」魅力説明会



川崎駅ビルでは、山梨のモモを
味わってもらいました



東京・大田市場で、せり台に立ち
山梨の果実をPR

本県には、果実、ワインなどの特産品や、富士山をはじめとする自然環境など、国内外に誇れるものが数多くあります。横内知事は、これら「やまなしブランド」をPRする取り組みの一環として、この夏、国内・海外でトップセールスを行いました。

東京、福岡での 果実トップセールス

県では、県産果実などの販路拡大とブランド化を強力に進めるため、今年4月に「農産物販売戦略室」を新設し、市場関係者や量販店、貿易業者などへの売り込みを積極的に行っています。そうした中、モモの出荷が最盛期を迎えた7月、横内知事は農業関係者とともに東京圏や福岡市内でトップセールスを行いました。

国内最大の出荷先である東京大田市場では、せり台に立ち市場関係者に山梨のモモをPRしました。知事が出荷先に直接出向くこうした取り組みは、知事就任以来、継続して行っているものであり、市場関係者からの評価は年々高まっています。

一方、これまで出荷量が少なかった福岡では、流通業者などとの意見交換を通して、山梨のモモを売り込みました。流通業者からは、「出荷量を増やしてほしい」といった要望が出されました。また、福岡市内のデパートで行った消費者向けPRでは、「山梨のモモは品質がよい」「店頭であれば買いたい」など多くのご意見をいただきました。今回の

香港・上海を訪問

横内知事は、7月30日から8月4日までの6日間、香港と上海を訪問。モモやブドウ、ワイン、フジザクラポークなど本県特産品の販路拡大に向けたPRと本県への一層の誘客を目的に、富士山をはじめとする観光資源のトップセールスを精力的に行っていました。

◆香港でのトップセールス

東アジア屈指の国際都市である香港では、7月30日から8月1日までの3日間活動しました。

まず、香港ジャスコ・コンヒル店で開催した「富士の国やまなし」観光物産フェアでは、富士山をはじめとする本県の観光資源の魅力を紹介するとともに、モモやブドウ、ワインなど23社53品目の県産品を販売しました。

横内知事自らが店頭に立ち、香港の市民に直接、山梨の果実などをPRしました。海外の百貨店における本県のフェアは、初めての試みでしたが、全般において、外国のプレスに対し今年度の国産ワインコンクールの上位入賞ワインの紹介など、山梨県産ワインのPRを行いました。

(財)フォーリン・プレスセンターは、日本新聞協会と日本経団連の共同出資により1976年(昭和51年)に設立された外国メディアの総合機関です。今年4月現在、42の国や地域の外国メディア203機関の記者615名が加盟しており、今回は、その活用第一弾として、県産ワインについて、知事のトップセールスを行ったところでした。

今後とも、このフォーリン・プレスセンターを最大限活用して、本県の特産品の紹介や本県の魅力などを広く海外に向けて、積極的に発信するとともに、引き続き、山梨県の魅力を広くPRしていくこととしています。



今年度の国産ワインコンクールで金賞を受賞した県産ワイン

◆上海でのトップセールス

中国からの観光客は、本県を訪れる外国人観光客の半数近くを占め、本県の外客誘致における重要な地域です。今年7月には訪日個人観光ビザが創設され、今後、中国からの観光客のさらなる増加が見込まれています。誘客の一層強化を目的に8月2日には、上海へ移動しました。

横内知事は、県が今年4月に開設した「山梨県上海事務所」を訪問し、管理を受託している徐迪受さん(やまなし大使)より説

明をうけました。その後は、来年開催予定の上海万博会場を視察するとともに、万博に合わせた山梨県の観光PRを行う候補地を視察しました。

また、上海市の隣りの蘇州市にある蘇州工業園を訪問。ここは中国とシンガポールの共同プロジェクトとして1994年(平成6年)にスタートし、「中国のハイレベルで最も競争力のある開発区」を目指しています。園区内には3,700社を超える外資系企業が進出しており、居住者は富裕層が多く、近い将来は120万人まで増える見込みです。横内知事は、この園区のトップと会談し、山梨への誘客を働きかけるとともに、その手応えを感じました。

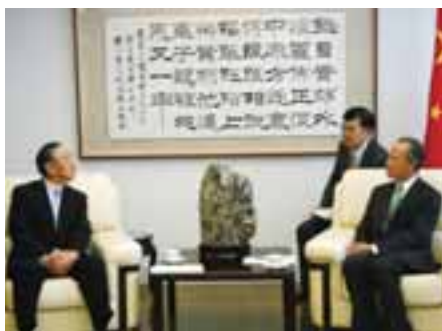
そして上海市内のホテルで山梨県のPRや「山梨県上海事務所」の紹介を目的に、「富士の国やまなし」魅力説明会を開催。現地の政府関係者や旅行会社、マス



来年開催予定の上海万博会場を視察



徐迪受さんの案内で「山梨県上海事務所」を訪問した横内知事



中国日本大使館を訪れて、崔天凱駐日大使と会談

海外メディアを使った 新たな販売戦略

横内知事は、9月11日に本県が今年度から賛助会員として入会した(財)フォーリン・プレスセンターに

今回のトップセールスでは、香港での「富士の国やまなし」観光物産フェアをはじめとする本県特産品の認知度の向上と販路拡大の取り組みや観光PR、上海での「山梨県上海事務所」の周知と観光PRなどにより、今後、大きな成果が期待されます。そして香港・上海トップセールスから帰国して6日後の8月10日、横内知事は、東京都にある中国日本大使館を訪れ、崔天凱駐日大使と会談しました。今回のトップセールスの内容を実現するため、観光や農産物の輸出促進について話し合うとともに、県内の地名が中国国内で商標登録されている問題についても、適切な対策を講じるよう求めました。